

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	持続可能な観光地域づくり推進事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	DMOを中心とした観光地域づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和9年度		
事業の概要			
「みちのく潮風トレイル」「三陸ジオパーク」などの観光資源の活用や駅前イベント実施、釜石物産センターの改修設計や案内表示の多言語化など受入環境の整備を通じて、地域経済の活性化と交流人口の拡大を図る。また、令和7年度のクラウドファンディング型ふるさと納税を財源として、環境保全や観光人材育成などの課題解決に取り組むほか、次期観光振興ビジョンの策定を進め、持続可能な観光地域づくりを推進するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>人口減少や経営者の高齢化などにより、飲食・宿泊事業者の統廃合が進むなど地域活力が低下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H29 に策定した観光振興ビジョンが R8 年度末で計画期間終了。今後 10 年を見越したビジョン策定が必要。 ・ 釜石ジオ（みちのく潮風トレイル・三陸復興国立公園・三陸ジオパーク）は、近年ハイカー増加傾向だが、市民に価値が浸透していない。また、市内ルートの魅力の伝達やインバウンドに対応した看板が少ない。 ・ 市民アンケートにおいて、「地域に住まう誇り」の割合が低い。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な観光振興の方向性を踏まえ、地域一帯で効果的な交流人口の拡大や外貨獲得を図る。 ・ 釜石ジオの市民認知度向上により、市民・事業者など地域全体として PR が可能となり、滞在時間の増加にも繋がる。 ・ トレイルを利用するハイカーが地域の魅力を理解しながら安全に楽しんでもらい、満足度が上がることで再訪や新たなハイカー獲得に繋がる。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①観光施策の実施にかかる調査事業（委託料 13,000 千円）②三陸ジオを活用した誘客促進事業（委託料：900 千円） ③インバウンド対応看板設置事業（委託料：3,100 千円）④釜石物産センター30周年記念イベント（委託料：3,000 千円）⑤釜石物産センター改修整備事業（委託料：12,410 千円）⑥自然と共生するまち推進事業（GCF 事業：5,000 千円）		
事業費		
R 8	R 9	R 10
27000 千円	27000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
みちのく潮風トレイルや三陸ジオパーク等の多様な観光資源を活用するとともに、インバウンド受入環境の整備や観光振興ビジョンの策定を通じ、持続可能な観光地域づくりを推進する重要な事業である。関係機関との連携を図りながら、地域経済の活性化及び交流人口の拡大に向けた取組を推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	観光事業コーディネーター配置事業（地域おこし協力隊事業）		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	0193-27-8421
施策②	DMOを中心とした観光地域づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～度		
事業の概要			
体験プログラムの開発・実施及び観光に関する情報発信、観光による交流人口の拡大、地域の活性化を図るため、行政や観光関係事業者等と連携しながら事業を実施していくためのコーディネーターを確保するもの。また、三陸ジオパークの情報発信及び、三陸ジオパークを活用した地域活性化や観光振興を推進する推進員を確保するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域DMOである(株)かまいしDMCが観光地域づくりをマネジメントし、官民が一体となって連携して精度の高い観光戦略を策定し「釜石オープン・フィールド・ミュージアム構想」を推進させるためには、市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を図る必要がある。
目的
市、DMC、観光関連機関がより一層の連携を強化するために、各機関をつなぐ体制を構築する。また外部からの誘客を促進することで、交流人口と滞在人口の増加を目指す。また、専門性や学術性の高いジオに関する知識を習得した三陸ジオパークコーディネーターを育成し体制強化を図るとともに、ジオツアーなどイベントを実施し、ジオパークを広く知ってもらおう。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 市、DMC、観光関連機関の連携を図り、円滑に事業を進めるため調整役となるコーディネータを1名配置する 三陸ジオパークコーディネーターとなる1名を配置する。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
11000 千円	11000 千円	11000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
地域おこし協力隊制度等を活用することで、観光客の誘客促進及び教育旅行等の誘致を通じた関係人口の創出に寄与することが期待される。 推進人材の確保を着実に進められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	四季彩イベント開催事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	平成22年度～令和10年度		
事業の概要			
釜石納涼花火や釜石まつり、釜石まんぷくフェスなど四季折々のイベントの開催を通じ、釜石市の魅力を市内外に発信するとともに、誘客促進、地域経済の活性化及び賑わいの創出を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
新型コロナウイルス感染症の影響により、釜石市を訪れる観光客の減少及び賑わいが落ち込んでいる中で、来訪者の増加させるためには、釜石市の自然や文化等の魅力を体感できるようなイベント等をブラッシュアップするとともに、SNSを活用した情報発信が必要となっている。
目的
既存のイベント等をブラッシュアップするとともに、SNSを活用した情報発信を行うことにより、釜石市を訪れる人及び釜石市を知っている方を増やし、滞在・宿泊している状態が持続させることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントのブラッシュアップ ・市内団体が開催するイベント等への補助金交付 ・SNSでの情報発信 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
18500 千円	18500 千円	18500 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
本事業は、多様な観光イベントの開催と誘客促進を通じて、市内の活性化及び交流人口の拡大に寄与する事業である。関係機関と連携の上、継続的な実施と効果的な展開に努められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	22-2111
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	平成27年度～令和10年度		
事業の概要			
全国虎舞フェスティバルを市街地中心部で開催することで、街中のにぎわいを創出するとともに、市外への情報発信にもつなげる。釜石虎舞は釜石を代表する郷土芸能であることから、当該イベントを継続することにより観光のPR及び伝統芸能の継承を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	中心市街地への人出が減っており、中心市街地の賑わい創出による活性化が必要。
目的	中心市街地に整備された施設（情報交流センター、TETTO、大町広場等）を活用したイベントの開催による市街地の賑わい創出。市の郷土芸能である「虎舞」によるPR。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内の虎舞団体による「虎舞フェスティバル」の開催 「釜石虎舞」を活用した市のPR活動		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1800千円	0千円	1800千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
市の伝統芸能である「釜石虎舞」を全国にPRし、情報発信及び誘客によるにぎわい創出につながる事業である。隔年開催とし、開催内容や発信手法を工夫のうえ事業を企画されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	鈴子地区にぎわい再生検討事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	都市計画課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8435
施策②	多様な観光イベントの開催と誘客促進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和12年度		
事業の概要			
鈴子地区は、区画整理事業により整備された地区であるが、完成から約20年が経過し街並みが古くなってきている。また、人口減少の影響により、釜石駅周辺のにぎわいが衰退しているため、現在、鈴子地区にある既存インフラを最大限活用し、今後、鈴子地区が目指すにぎわいの将来像について関係者と調整しながら、官民連携によるにぎわい再生のための体制構築や既存施設等の再整備について概略検討を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 釜石駅前周辺施設（釜石駅、物産センター、サンフィッシュ釜石）の利用者が少ない。にぎわいが無い。 釜石駅前には、玄関口としての最低限の機能を有しているが、観光客等の来場者は減少傾向にある。 物産センター及びサンフィッシュ釜石は、空きテナントの増加や施設の老朽化等により、にぎわいを生み出すための五感を刺激する施設のあり方が課題となっている。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> 駅前利用者の増加 にぎわいが増えることで、交流人口が増えることにより、当地区以外への波及効果の増進 もともとある公共交通の結節点の機能が強化され、当市の「ゲートウェイ」と位置づける 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
今後の鈴子地区のにぎわい創出の可能性について検討し、どのような施設の基盤整備が必要か、再開発を含めた実施事業の有無についてを、費用対効果の面から検証・検討する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
15000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
鈴子地区一体の構成を十分に吟味し、住民の声を聞きながら、持続可能な観光地域づくり推進事業との整合性を図り進められたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	ふるさと便お届け事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	地域ブランドの創出と物産振興	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	平成25年度～令和10年度		
事業の概要			
個人からの寄附に対して地場産品をふるさと便としてお届けし、寄附件数及び寄附額の増加を図るとともに、特産品の掘り起こしによる六次産業化を促進し、当市の魅力を全国に発信するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
安定的な財源の確保が難しくなり、市内飲食店や小売業事業者の衰退などが著しい中、新型コロナウイルス感染症や物価高が猛威を振るっており、ふるさと納税による収入は貴重な財源確保の手法となっていることから、安定的な収入として確保することが必要となっている。
目的
ふるさと納税で得た収入を、市民の課題解決のための事業に充てるとともに、市の特産品を県内外にPRすることで知名度アップや特産品の開発や掘り起こしにより地域経済活性化に繋げたい。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 各ポータルサイトのスムーズな運営 各ポータルサイトを活用したPR 寄附者へのレスポンスを確実に丁寧に行う ふるさと納税返礼品の品数を増やす 全体的な返礼品の交渉、選定 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
325000 千円	325000 千円	325000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
ふるさと納税は、寄附金による財源確保税収確保に加え、返礼品を通じた地場産品の販路拡大や新商品開発を促進し、地域ブランドの向上に資する重要な取組である。引き続き、市内事業者等と連携し、魅力ある返礼品の拡充と情報発信を強化し、寄附の安定確保に努められたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石宿泊旅行創出支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	商工観光課
施策①	稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進	電話番号	27-8421
施策②	観光資源を活用した滞在型観光の創出	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和10年度		
事業の概要			
地域の特色ある食・イベント等を活用した旅行者受入体制の強化を図ることで、冬季を含む年間を通じた宿泊旅行の創出を図り、地域経済の活性化と関係人口の拡大に繋げるもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や経営者の高齢化などにより、飲食・宿泊事業者の統廃合が進むなど地域活力が低下。 ・宿泊旅行者獲得による、より高い地域経済への波及効果が期待されている。
目的
<ul style="list-style-type: none"> ・食と宿とイベントが連携して、宿泊旅行者を獲得することで、地域活性化が図られる。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・冬季宿泊旅行造成事業委託（12月～2月・2,000円×2,000人泊+事務費）：5,000千円 ・市内宿泊旅行受入体制構築事業補助金：1,500千円 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
6500千円	0千円	0千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
本事業は、旅行者の受入体制を強化することで、宿泊旅行創出を図る重要な取組である。宿泊を伴う観光需要の拡大は、地域経済の活性化や関係人口の創出に寄与することから、関係団体と連携し、効果的な事業展開を図りながら、継続的な誘客促進に努められたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	スタジアムコンサート誘致推進事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/観光振興と交流人口の拡大	担当課	文化スポーツ課
施策①	釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大	電話番号	193275712
施策②	ラグビーを核にしたスポーツツーリズムの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和10年度		
事業の概要			
釜石鶴住居復興スタジアムはスポーツによる利活用のほか、芸術文化のイベントでも活用されるべくして建設され、これまで多種多様なイベント開催で市民及び市外の多くの人たちが楽しめる空間を創出してきた。R6年度で市民が熱望していたスタジアムコンサートを開催することができたため、引き続きスタジアムコンサートが今後定期的に行われるためのきっかけ作りのコンサート開催を誘致しようとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
スタジアムはスポーツによる利活用のほか、芸術文化のイベントでも活用されるべくして建設され、これまでラグビーイベント以外でも多種多様なイベント開催を誘致のうえ市民及び市外の多くの人たちが楽しめる空間を創出してきたが、市民の中では、スタジアムでの音楽フェスやコンサートイベントの開催を望む声が多くあり、賑わいの創出や交流人口・関係人口拡大でラグビー関係者以外からの満足度の高い施設利用を推進したいもの。			
目的			
コンサート開催に支障となるのは、コンサート仕様とするための、芝生保護のための床敷き材設置であるが、今回、このような大がかりな仕様を必要としないアーティストグループと、スタジアムコンサートの共催が可能となったことから、釜石特有のスタジアムコンサートを開催実現しようとするもの。			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
既に釜石鶴住居復興スタジアムでのコンサートイベントを打診していただいている音楽アーティストと、直接または間接的に交渉のうえ、まずは1,000～1,500人規模のスタジアムサートを計画するもの。			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
3912 千円	3912 千円	3912 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
コンサートの誘致を通じて、スタジアムの付加価値向上を図るとともに、市民の賑わい創出や地域の魅力発信に寄与することが期待される。 また、市内外からの来訪者増加による交流人口の拡大にも繋がる重要な取組であることから、関係機関と連携し、効果的に事業を展開できるよう推進されたい。			